

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	幼稚園運営支援事業		コード	担当課	学校教育課
事業実施期間			03-01-01-04	担当者	重成育枝
総合計画 事業(政策)体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり	電話	64-1840	
	中項目	未来を支える人材を育むまちづくり			
	小項目	幼稚園			
	施策	幼稚園の運営			

事業について	
目的	幼稚園で適切な保育をすることができるよう、人的・物的支援を行うことで、幼稚園教育の充実を図る。
対象 (誰のために)	幼稚園教員 幼稚園幼児
内容	・教育支援員の配置 ・プールの借り上げ ・各種負担金の支出

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
教育支援員雇用人数	3 人		
教育支援員雇用時数	2,160 時間		
プール遊び参加幼児数	1,149 人		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		
	直接事業費	12,154	間接事業費		直接事業費		間接事業費		
	人件費	2,155	受益者負担		人件費		受益者負担		
		市債				市債			
合計	14,309	一般財源等	14,309	合計	0	一般財源等	0	合計	0

結果指標①	結果指標名	教育支援員雇用時数	
	結果指標量	2,160	
	単位	時間	
	対前年比	0.00%	
	事業費	3,130,500	円
単当たりコスト①	1,449	円	

結果指標②	結果指標名	プール遊び参加延べ幼児数	
	結果指標量	1,149	
	単位	人	
	対前年比	0.00%	
	事業費	1,236,000	円
単当たりコスト②	1,076	円	

事業の成果	
成果指標名	教育支援員要望園への配置率(%) 式又は説明 雇用人数/要望人数×100
成果指標量	17年度 75
対前年比	0.00%
到達目標値	90 到達目標年度 20年度

事務事業の評価		
目的・ 対象・ 内容の 妥当性 評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性 の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性 の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	教育支援員の適正な配置については、幼稚園における教育活動が円滑に運営できるよう配慮することは必要である。また、プール施設が近隣にない幼稚園については、プールを借り上げ、教育効果を上げることは必要であり、本市が負担すべき事業である。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	4,600	結果指標量②	1,150
目標値	成果指標量 80		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	教育支援員の配置の目的を周知する。	18年度	教育支援員の目的を周知することで適正な配置が可能になる。
有効性	教育支援員を必要とする幼児の実態について他の機関と連携を取るようにする。	19年度	教育支援員の適正な配置ができる。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行ってください。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行ってください。

事業の目的やその数値目標と留意しながら有効性の評価を行ってください。